

※ 受験申込者本人が作成した場合は無効(個人開業者等を除く)

※ 所属長等の証明権限を有する証明者(担当者)に、作成方法(記入例)を参考に記入してもらうこと。

実務経験証明書 (兼 実務経験見込証明書)		「新規受験」のみ必要
1	証明日	受験案内配布日(2024年6月10日)以降の日付を記入すること。配布日より前は無効。
2	施設・事業所所在地 施設または事業所名 代表者氏名	実際の勤務施設名を記入 すること。 一法人で複数の勤務施設がある場合は、勤務施設ごとに本証明書を作成 すること。
3	印(証明印)	証明者の公印(職印)を使用すること。 個人経営等で公印がない場合は、役所等に通常書類を提出する際に使用する個人印を使用すること。 内容を訂正する場合は、証明権者の公印で訂正印を押すこと。修正液や二重線のみによる訂正は認められません。
4	担当者(電話番号)	証明書の内容について確認が必要な場合があるため、 本証明書を作成した担当者の氏名および電話番号(連絡先)を必ず記入 すること。
5	受験者氏名 施設または事業所名 勤務先住所	それぞれ、 勤務当時のもの を記入すること。 施設・事業所が統廃合により名称変更等をしている場合は、当時の名称等を記入すること。
6	生年月日	算用数字で記入すること。 和暦・西暦、ともに記入 すること。
7	業務従事期間(A)	業務に従事した(している)全体の期間(休職期間を含む)を記入 すること。国家資格等に基づく業務の場合は、業務開始日は資格取得(登録)日以降とすること。 過去に従事していた場合は、上段に記入すること。 現在従事中で、通算して期間・日数を 満たしている 場合は、中段に記入すること。 現在従事中で、通算して期間・日数を 満たしていない 場合(業務従事見込として申込む場合)は、下段に記入すること。 業務従事見込として申込む場合 (8ページ参照) 証明日現在、従事しているが、受験要件となる期間および日数(受験資格に関する業務5年以上かつ900日以上)を通算して 満たしていない 場合でも、試験前日(2024年10月12日)までの期間を算定し、業務従事見込として受験を申込むことができます。その場合は「 通算して期間・日数を満たしていない 」に記入すること。 受験者は、期間および日数を満たした後、あらためて「 通算して期間・日数を満たしている 」に記入のある実務経験証明書を、所定の期日までに提出する必要があります。
8	従事年月	休日、年次休暇(有給休暇)、産前産後休業は、業務に従事した期間に算定できませんが、業務に従事した日数には算定できません。 1か月未満は、切り捨てること。
9	(A)のうち、育休・病休等休職した期間(B)	業務従事期間(A)のうち、休職した期間があれば記入 すること。
10	合計の従事年月 (A) - (B)	業務従事期間(A)の従事年月から、休職した期間(B)の年月を除いて記入 すること。
11	業務に従事した日数 (A) - (B)	合計の従事年月のうち、 受験資格に関する業務に実際に従事した日数を正確に記入 すること。「約」、「およそ」等のあいまいな表現は不可。 休日、休暇、産休、育休、病休等は算定できません。
12	職種名 資格コード	受験者の勤務当時の職種名、資格コードを、様式裏面または9、10ページを参照し記入すること。
13	施設種別および具体的な業務内容	受験者の 勤務当時の施設種別および具体的な業務内容を記入 すること。 (例)「(施設種別) 養護老人ホーム(業務内容) 介護業務」 「(施設種別) 診療所(業務内容) 看護業務」等

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書） 記入例（1）

石川花子さんは、2017年8月1日に介護福祉士として登録し、社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームAで受験資格に関する業務に従事しています。その後、産前産後休業、育児休業を取得していますが、証明日現在、受験要件となる期間および日数（受験資格に関する業務5年以上かつ900日以上）を満たしています。

受験申込者本人が作成した場合は無効（個人開業者等を除く）

令和6年度 石川県介護支援専門員実務研修受講試験

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書） 証明した日

社会福祉法人石川県社会福祉協議会 理事長 様 （証明日）2024年 6月 10日

施設・事業所所在地	石川県金沢市●●町●番地		
施設または事業所名	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームA		
責任者氏名	施設長 本多 太郎		
担当者（電話番号）	金沢 町子	(076 - ●●● - ●●●●)	

下記の者の実務経験は、以下のとおりであることを証明します。

ふりがな	いしかわ はなこ	生年月日	昭和・平成 2年 6月1日 西暦 1990年
受験者氏名	石川 花子		
業務従事期間 (A)	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームA 石川県金沢市●●町●番地		
業務状況	※ 受験者の状況に該当する欄に ※ 国家資格に基づく業務の場合		
過去に従事していた	年 月 日	まで従事	年 月
現在従事中	2017年8月1日～ 証明日現在、従事している		6年10月
(A)のうち、育休・病休等休職した期間 (B)	① 2019年8月1日～2020年7月31日・現在		▲ 1年 月
	② 年 月 日～ 年 月 日		年 月
業務に従事した日数 (A) - (B)	1224日	※ 実際に対人援助業務に従事した日数を正確に記入 ※ 休日、休暇、産休、育休、病休等は除く	合計の従事年月 (A) - (B) 5年10月
職種名	介護福祉士	資格コード	1 0 1 1
施設種別	(施設種別) 特別養護老人ホーム (業務内容) 介護業務		

作成を担当した方の氏名と連絡先を記入

介護福祉士として、特養Aで現在従事中
受験要件となる期間を満たしているため、「満たしている」の欄に記入する

2013年から特養Aに勤務しているが、受験資格となる介護福祉士に登録したのは2017年8月1日のため、業務従事期間として算定できるのは、2017年8月1日からとなる

従事期間全体の年月(1か月未満切捨)
育休は従事年月(期間)に算定不可

証明日現在、休職中の場合は「現在」に○

6年10月-1年=5年10月

産休、育休等は業務に従事した日数に算定不可
「約」、「およそ」等あいまいな表現は不可

！ 注意 ！
申込日現在、受験資格に関する業務に従事している場合は現在の勤務先の証明書が必ず必要です。

様式裏面を参照

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書） 記入例（2）

業務従事見込として申込む場合

例えば、花子さんが、2回目の産前産後休業、育児休業を取得し、証明日現在、受験要件となる期間および日数（受験資格に関する業務5年以上かつ900日以上）を満たしていないが、2024年7月31日までに満たす見込の場合は、業務従事見込として申込むことができます。

受験申込者本人が作成した場合は無効（個人開業者等を除く）

令和6年度 石川県介護支援専門員実務研修受講試験

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書）

社会福祉法人石川県社会福祉協議会 理事長 様

証明した日
(証明日) 2024年 6月 10日

施設・事業所所在地	石川県金沢市●●町●番地		
施設または事業所名	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームA		
代表者氏名	施設長 本多 太郎		
担当者（電話番号）	金沢 町子	(076 - ●●● - ●●●●)	

作成を担当した方の氏名と連絡先を記入

印

下記の者の実務経験は、以下のとおりであることを証明します。

ふりがな	いしかわ はなこ	生年月日
受験者氏名 (勤務当時の氏名)	石川 花子	昭和 平成 2年 6月 1日 西暦 1990年

介護福祉士として、特養Aで現在従事中
受験要件となる期間および日数を満たしていないので、「満たしていない」の欄に記入する

証明日現在では、受験要件を満たしていませんが、試験日前日2024年10月12日までに受講要件を満たす場合は、見込として提出可能

業務従事期間	業務に従事した期間		従事年月 (1か月未満切捨)
	通算して日数を満たしている	通算して日数を満たしていない	
現在従事中	2017年8月1日～2024年7月31日	2017年8月1日～2024年7月31日	7年
(A)のうち、 育休・病休等 休職した期間 (B)	① 2019年8月1日～2020年7月31日 ・ 現在	② 2021年8月1日～2022年7月31日 ・ 現在	▲ 1年 月
業務に従事した日数 (A) - (B)	1008日 ※ 実際に対人援助業務に従事した日数を正確に記入 ※ 休日、休暇、産休、育休、病休等は除く		合計の従事年月 (A) - (B) 5年
資格種別	介護福祉士	資格コード	1011
(施設種別)	特別養護老人ホーム	(業務内容)	介護業務

産休、育休等は業務に従事した日数には算定不可
「約」、「およそ」等あいまいな表現は不可

従事期間全体の年月(1か月未満切捨)
育休は従事年月(期間)に算定不可
7年-2年=5年

様式裏面を参照

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書） 記入例（3）

証明が複数の施設または事業所にわたる場合

例えば、花子さんが、特別養護老人ホームAを退職し、その後特別養護老人ホームBに就職し、両施設での期間および日数を通算して算定する場合は、受験案内から切り離れた様式をあらかじめ両面コピーして両施設に証明を依頼します。また、一法人で複数の勤務施設がある場合（施設等を異動した場合）は、勤務施設ごとに証明書の作成が必要です。

1 枚目 特養Aの証明書（過去に従事）

受験申込者本人が作成した場合は無効（個人開業者等を除く）
令和6年度 石川県介護支援専門員実務研修受講試験

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書）
社会福祉法人石川県社会福祉協議会 理事長 様 (証明日) 2024年 6月 10日

施設・事業所所在地	石川県金沢市●●町●番地
施設または事業所名	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームA 印
代表者氏名	施設長 本多 太郎
担当者（電話番号）	金沢 町子 (076 - ●●● - ●●●●)

下記の者の実務経験は、以下のとおりであることを証明します。

ふりがな	いしかわ はなこ	生年月日	昭和 2年 6月 1日 西暦 1990年
受験者氏名 (勤務当時の氏名)	石川 花子		
施設または事業所名 (勤務当時の名称)	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームA		
勤務先住所 (勤務当時の住所)	石川県金沢市●●町●番地		
業務従事期間 (A)	受験者の状況	※ 受験者の状況に該当する欄に、西暦で記入してください。 ※ 国家資格に基づく業務の場合は、資格取得（登録）日以降を記入してください。	
	過去に従事していた	2017年 8月 1日～2023年 3月 31日まで従事	5年 8月
	現在従事中	通算して期間・日数を満たしている	年 月 日～ 年 月 日 証明日現在、従事している
(A)のうち、 育休・病休等 休職した期間 (B)	① 2019年 8月 1日～2020年 7月 31日・現在	▲ 1年 月	
業務に従事した日数 (A) - (B)	972日 ※ 実働に 対人援助業務に従事した日数を正確に記入 ※ 休日、休暇、産休、育休、病休等は除く	合計の従事年月 (A) - (B)	4年 8月
職種名	介護福祉士	資格コード	1 0 1 1
施設種別および 具体的な業務内容	(施設種別) 特別養護老人ホーム (業務内容) 介護業務		

！ 注意 ！
申込日現在、受験資格に関する業務に従事している場合は、過去に従事していた事業所で業務従事期間・日数（5年かつ900日）の要件を満たす場合でも、現在の勤務先の証明書 が必ず必要です。

証明日現在、特養Aは過去に従事していたので、「過去に従事していた」の欄に記入する

2 枚目 特養Bの証明書（現在従事中）

受験申込者本人が作成した場合は無効（個人開業者等を除く）
令和6年度 石川県介護支援専門員実務研修受講試験

実務経験証明書（兼 実務経験見込証明書）
社会福祉法人石川県社会福祉協議会 理事長 様 (証明日) 2024年 6月 10日

施設・事業所所在地	石川県金沢市△△町△丁目△番地
施設または事業所名	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームB 印
代表者氏名	施設長 北陸 一郎
担当者（電話番号）	兼六 園子 (076 - △△△ - △△△△)

下記の者の実務経験は、以下のとおりであることを証明します。

ふりがな	いしかわ はなこ	生年月日	昭和 2年 6月 1日 西暦 1990年
受験者氏名 (勤務当時の氏名)	石川 花子		
施設または事業所名 (勤務当時の名称)	社会福祉法人〇〇 特別養護老人ホームB		
勤務先住所 (勤務当時の住所)	石川県金沢市△△町△丁目△番地		
業務従事期間 (A)	受験者の状況	※ 受験者の状況に該当する欄に、西暦で記入してください。 ※ 国家資格に基づく業務の場合は、資格取得（登録）日以降を記入してください。	
	過去に従事していた	年 月 日～ 年 月 日 まで従事	年 月
	現在従事中	通算して期間・日数を満たしている	2023年 4月 1日～ 証明日現在、従事している
(A)のうち、 育休・病休等 休職した期間 (B)	① 年 月 日～ 年 月 日・現在	▲ 年 月	
業務に従事した日数 (A) - (B)	252日 ※ 実働に 対人援助業務に従事した日数を正確に記入 ※ 休日、休暇、産休、育休、病休等は除く	合計の従事年月 (A) - (B)	1年 2月
職種名	介護福祉士	資格コード	1 0 1 1
施設種別および 具体的な業務内容	(施設種別) 特別養護老人ホーム (業務内容) 介護業務		

介護福祉士として、特養Bで現在従事中
A施設と通算して受験要件となる期間および日数を満たしている※ので、「満たしている」の欄に記入する

※ 特養Aで 4年8月 (972日)、
特養Bで 1年2月 (252日)、
通算して 5年10月 (1224日)
受験要件となる期間および日数を
満たしています。